【消化器内科】

ピロリ菌を除菌すればもう大丈夫？

国吉病院
院長　国吉 宣俊 さん

２０１３年より内視鏡検査でピロリ菌感染胃炎と診断されれば、保険診察で除菌ができるようになりました。それ以降ピロリ菌除菌の治療が急速に広まり、菌感染率はかなり下がってきています。しかし、胃がんの主な原因であるピロリ菌を除菌すれば、もう胃がんにはならないのでしょうか？それは間違いです。除菌によって胃がん発生の危険性が下がるのは間違いありませんが、ゼロにはなりません。特に除菌前に胃炎の状態が進んでいるほど、除菌後の胃がんのリスクはより高く残ります。

これはピロリ菌がいなくなった時点で、すでに検査で発見できない極めて小さな潜在的ながんができてしまっているなどがその原因と考えられています。ピロリ菌の除菌が成功して安心し、胃がん検診を受けなくなるケースがあることも問題です。除菌が成功しても定期的な検査が必要で、特に萎縮が高度な胃炎がある場合は１年に１回の内視鏡検査が必要です。日本の内視鏡診断技術は高く、早期に見つかれば十分内視鏡で完治となります。

医療法人三和会 国吉病院
高知市上町1-3-4
☎088-875-0231
【診療時間】
午前9:00～正午
午後2:00～午後5:00
※土曜日は午前診療のみ
【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日
※急患は時間外でも診療いたします
【診療科目】
消化器内科・循環器内科・
消化器外科・緩和ケア内科・
整形外科・内科（ペインクリニック）他